



クラリネット&ピアノ

デュオ・レゾネ

【所属マネジメント】

株式会社プレリューディオ

住所：〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6
昭和音楽大学北校舎内

TEL：044-953-2105 FAX：044-955-5724

担当：森 恭子 E-mail：mori@preludio.co.jp

亀井 良信 かめい よしのぶ 鈴木 慎崇 すずき よしたか
愛知県出身 東京都在住（クラリネット） 北海道出身 東京都在住（ピアノ）

■ やってみたいアクティビティとコンサート

クラリネットとピアノのための名曲を中心に、小品、ピアノソロ、20世紀のクラリネットのソロ作品などを組み合わせる。ドイツロマン派の作品（ブラームス、シューマンなど）、フランス近現代（ドビュッシー、サン＝サーンス、プーランク）など国別にスポットライトを当てたプログラムが可能。また、国が違っても同じ時代を生きた作曲家が残した作品にスポットライトをあてたプログラムも可能。プーランク/ソナタ、ドビュッシー/クラリネットとピアノのための狂詩曲、ブラームス/クラリネットソナタ他。学校訪問のコンサートでは、2つの楽器を近くできいてもらい、音のおもしろさや豊かさを肌で感じてもらう。昨年度のおんかつから、子どもたちの音に対する感受性に感動したので、音楽から色を感じてもらおう試みを続けてみたい。そして、「踊り、ダンス」をテーマに、タンゴ（ピアソラ）、ワルツ（ショパン、リストなど）、民族性の強い舞曲（バルトーク、ストラヴィンスキーなど）の組合もあります。可能な限り、リクエストにお応えできるようなプログラム構成も考えるつもりです。

■ 自己PR

グループ名デュオ・レゾネの「レゾネ」は“響きあう”という意味。クラリネットとピアノは互いに意思をもち、尊重し、かけ合い、寄り添います。音楽でのこのような対話“響きあう”ことの楽しさを身近に感じてもらえることをめざします。反応がすぐ伝わる訪問コンサートでは、聴く人とのキャッチボールがしやすい環境です。つまり「レゾネ」です。心と心が通いあう、演奏家と聴衆が一体となった空間が生まれ、音楽の楽しさを分かちあうことを願っています。

PROFILE

亀井 良信/クラリネット

愛知県名古屋生まれ。9歳のときに父のてほどきで、クラリネットを始める。桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）卒業後、渡仏。パリ市12区立ポール・デュカ音楽院、オーベルヴェリエ・ラ・クールヌーヴ地方国立音楽院をいずれも満場一致の1位で卒業する。ピエール・ブレーズに認められ、フランスの騎馬オペラ団“ジジガロ劇団”のスペクタクル“TRIPTIK”でソリストとして世界ツアー2年8ヶ月間300公演以上出演。2003年帰国。各地のホールに招かれリサイタルや室内楽演奏会を行っている。NHK-FM「FMシンフォニーコンサート」「ベストオブクラシック」「きらクラ」NHK-BS「クラシック倶楽部」「題名のない音楽会」などにも出演。CD「Rhapsodie」「Cantabile」「Romanze」（オクタヴィアレコード）が「レコード芸術」特選盤に選ばれている。第16回出光音楽賞、2005年度「アリオン賞」、2009年度名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。桐朋学園大学教授。

鈴木 慎崇/ピアノ

4歳よりピアノ、ソルフェージュを学ぶ。東京藝術大学音楽学部卒業。在学中、学内においてアリアドネ・ムジカ賞受賞。三角祥子、北島公彦、角野裕の各氏に師事。幼少よりさまざまなコンクールで入賞する。第51回全日本学生音楽コンクール、第71回日本音楽コンクールにて、それぞれ第1位。新日本フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など、さまざまなオーケストラと共演。また、リサイタル、FM、CDなどで数多くの演奏家と共演。国内外の音楽祭、コンクールにおいて公式伴奏者を務めるなど、伴奏、室内楽にも活動の場をひろげている。最近では、オーケストラの演奏会に鍵盤楽器奏者として度々出演している。東京藝術大学、武蔵野音楽大学非常勤講師を務めたのち、現在、洗足学園音楽大学非常勤講師として、後進の指導にあたっている。